

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

3目 農地調整費 <地方機関計上予算>

八頭総合事務所農林局(0858-72-3816)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 東部地区和牛・ヤギ放牧 支援事業	2,300	0	2,300			60	2,240	
トータルコスト	5,527千円 (前年度 0千円) [正職員0.4人]							
主な業務内容	補助金事務、関係機関との連絡調整、技術指導、業務実施(作業等)など							
工程表の政策目標(指標)	遊休農地の解消支援 (平成23年度末解消面積65ha)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

増大する中山間地域の遊休農地解消の有効な手段として、繁殖和牛やヤギの放牧を推進する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
【和牛レンタルシステム支援】 放牧可能な和牛のデータを一元的に管理し、耕種農家や畜産農家が連携して放牧に至るまでの支援を行う。	鳥取県畜産振興協会	300	300	— (委託)
【ヤギレンタルシステム支援】 放牧用ヤギを保有し、放牧馴致、貸出事務や運搬手配等を行う。	鳥取県畜産農協	240	240	— (委託)
【放牧フォローアップ】 放牧実施地区の巡回指導、管理者への助言等	鳥取県畜産振興協会	350	350	— (委託)
【放牧新規拡大】 新規に放牧に取り組む地区の掘り起こし、地元説明支援	県	60	60	—
【ヤギ飼育条件整備】 放牧用ヤギの飼育舎整備	鳥取県畜産農協	2,700	1,350	1/2
合計		3,650	2,300	

事業実施期間 平成22年度～23年度

事業対象エリア：県東部(八頭・東部総合事務所管内)

3 これまでの取組み状況、改善点

【指標】遊休農地の解消面積 65ha → 【現状】放牧による解消面積 21.6ha

平成20、21年度～どうぶつ守(もり)～放牧で守る里・山・田んぼプロジェクト事業により和牛・ヤギのモデル放牧を実証展示し、住民への放牧技術の啓発と遊休農地解消の有効性をPR。レンタルシステムの創設と運営支援等を実施し、放牧面積が急速に拡大した。

平成22年度は、関係機関の役割分担を整理し、新規地区の掘り起こしと放牧実施地区の取組が継続するよう技術支援を行う。また、飼育舎整備により放牧ヤギ頭数を確保し、ヤギレンタルシステムの充実を図る。